

介護サービス経営カレッジ アドバンスコース 事例シート

恐れ入りますが、PDF 形式での提出にご協力をお願いいたします。

◆法人・施設において、法改正対策や、中長期的な視点で取り組んで成功した事例を、それを導入する経緯やメリット(狙える成果)や実施のポイントなどを、具体的に記入してください。

法人名	社会福祉法人あけぼの会	お名前	倉田 康弘
-----	-------------	-----	-------

事例タイトル	法人本部×各部門コラボ、PDCA をまわせる次世代リーダーを育てよう！ 「人財養成塾アフターフォロー セカンドステージ」
実践内容	<きっかけ> あけぼの会の1番の課題は、最近6年程でスタッフ数が1.5倍となり、組織の規模に対して役職者が足りないこと。課題を解決する為には、「あり方」を大事に行動できる次世代リーダーを育てることが急務。当法人副理事長、法人統括本部長の小原が行う「人財養成塾(セミナーとグループワーク形式)」で学ぶだけではなく、学んだことを実際に行動できるようになる仕組みとして、在宅事業部でグループ LINEを活用した「アフターフォロー」を行っている。令和2年12月から行っているが、令和3年3月に1度評価を行った。評価を行い、2つの課題に気付いた。 <課題> ①「アフターフォロー」を在宅事業部では行ったが、入所事業部では行っていなかった。1事業部でしか行っておらず、人財育成に法人内格差があった。 ②「アフターフォロー」を行うことで、スタッフが以前に比べて行動できるようになったが、PDCA サイクルをまわして何か一つ成果を出すまでにはなかなか至らなかった。 <実践内容> ①在宅事業部のグループ LINE に、入所事業部の上長、人財養成塾メンバーを招待して、法人全体でアフターフォローを行える仕組みを作った。(人財育成の法人内格差を無くす仕組み、別紙①参照) ②入所事業部のメンバーがスムーズに入りやすい様に、在宅事業部の上長に主旨を説明し、協力を求めた。(上長に根回し) ③最初は行動できなかった入所事業部のメンバーにも、個別にアドバイスしたり、他のスタッフにも協力してもらったりすることで、行動できるように働きかけを行った。(行動することを日常化) ④行動することが日常となってきた。次のステージとして、計画→実行→評価→改善というPDCA サイクルをまわし、利用者さんに喜んでもらえる取り組みを1つカタチにしてもらう。(PDCA サイクルを実際に体感、別紙②参照) ⑤計画の部分で、1か月後をゴールとして、1週間ごとに行うことを決めて、毎週進行状況を報告する。(期限を決め、中間報告をする仕組み) ⑥実際に行動して、上手くいったら協力してくれたスタッフに感謝の気持ちを伝え、上手くいかなかったら上長に報告し、アドバイスをもらい修正。(評価と改善)
成果	・在宅事業部のスタッフだけでなく、入所事業部のスタッフにもアフターフォローを行うことで、最初は行動できなかったスタッフも、行動できるようになった。行動することを日常化できた。1事業部だけの取組ではなく、法人としての取組となり、行動できる次世代リーダーを3→5名に増やすことができた。 ・行動することが日常化できた次のステージとして、利用者さんに喜んでもらいたいというオモイをカタチにする為に、PDCA サイクルを体感してもらう機会を作った。行動することが得意でも中々最後までカタチにできないスタッフも、実現可能な計画と期限を決めることで、オモイをカタチにすることができた。結果、成功体験を積むことで自信が付き、新たな挑戦に向かって動き始めている。 ・メンバーが自分の事業部でスタッフを巻き込みながら色々行動をしていることで、各事業部のまわりのスタッフも、自分もやってみたいと言ってくれたり、アイディアを出したりしてくれるようになり、良い影響が出だしている。

介護サービス経営カレッジ アドバンスコース 事例シート

成功の ポイント 改善への 気づき	<成功への気づき> ・人財育成で法人内格差を解決する為の方法として、まだ取り組めていない事業部が、また新たに同じような取り組みを別に行うのではなく、取り組めている事業部と一本化になることで、法人としての組織一体化、効率化に繋がった。人財養成塾メンバー間で、いい意味で競争しあい、切磋琢磨できる環境になりつつある。 ・スタッフは、PDCA サイクルをまわしながら、成功体験を積むことで、どんどん新たな挑戦をして、1 つずつ成果を出すことを体感できた。リーダーに求められるのは、「人」「物」「金」「時間」を活用しながら、PDCA をまわして成果を出すこと。一つの足がかりになればと感じた。 <改善への気づき> ・アフターフォローに関しては、週に1回の実施ではあるが、5カ月間継続することができた。中間で評価し、改善することができたので、自分も PDCA サイクルをまわし、次のサードステージに向けて動いていきたい。
添付資料	※情報交換のより活性のために添付資料をお願いします。